

## 第2版の序

筆者は、昭和50年に日本国有鉄道病院（現：JR東京総合病院）へ就職してから約30年間、日本における義肢・装具に関する最先端で義肢・装具学および臨床技術の発展に努めてきた。その後の15年間は、PT養成校の教員として学生に対して義肢・装具学を教授するとともに臨床の現場において義肢・装具装着トレーニングの指導を行ってきた。それらの経験から、義肢装具士の国家資格が誕生して以来、PT・OTと学生の義肢・装具に対する興味が著しく低下し、義肢・装具装着トレーニングを実施する技術も顕著に低下している現状を実感し、憂慮している。一方、養成校の急増により「義肢・装具学」に精通し質の高い内容を教授できる教師の数が不足してきている。また第1版発行当時出版されていた「義肢・装具学」の教科書は、イメージがつかみにくく臨床現場を想像しにくいというのに、本を読まない学生が理解するには難しい内容のものが多かった。

そこで、PT・OTをめざす多くの学生に対する教育の質を担保し、義肢・装具に興味をもたせることができる授業を行えるような教科書として本書が企画され、5年前に第1版が出版された。その後、①学生にとってさらに理解しやすくイメージできるもの、動画教材や練習問題のさらなる充実を求める要望が多数寄せられたため、第2版を発刊することとなった。第2版の特徴は以下の通りである。

- ①豊富な実物のカラー写真とイラストといった第1版のよい点はそのままに、動画の数を増加（第1版：54本→第2版：114本）することによって、「目で見てさらにわかる」ようにし、「臨床実習および臨床現場」でより役立つように改善した
- ②簡条書きの簡潔な文章で理解しやすい
- ③イメージをつかむための動画を、紙面に掲載した二次元バーコードを読み込むことですぐに見られるようにした
- ④教科書として採用した養成校の教員には、採用特典として、図表を画像化したデータを講義用に提供する
- ⑤学んだことを復習するための穴埋め問題、および国試対策のための選択式問題を、各項について採用特典として用意した

また、各項は、

- ①義肢・装具の名称がわかる
- ②義肢・装具の機能と特徴がわかる
- ③義肢・装具の適応がわかる
- ④義肢・装具のチェックアウトができる
- ⑤義肢の評価・プログラムの設定ができる
- ⑥義肢のアライメント調整ができる

などの到達目標をもって編集されている。加えて「学習のポイント」を各項のはじめに記載し、理解しやすいように構成していることも特徴の1つである。そのため、「義肢・装具学」を専門としている教師でなくとも学生に興味をもたせることができ、質の高い授業を行うために利用できる教科書となっている。

第2版では、義肢・装具装着者でよくみられる「異常歩行とその対応」「ADL」「装着手順」「構造と機能」などの動画を大幅に増やした。これらの動画は学生が実際のイメージをつかむのに非常に有益である。臨床現場で働いているPT・OTが適合やアライメント調整を含む義肢・装具装着トレーニングを施行する臨床スキルを向上させるためにも有効な本である。ぜひ、現役のPT・OTの方々にもご活用いただきたい。

2023年1月

高田治実